

みんなの努力で 不老川に魚が戻ってきた！

魚がもっと増えるよう 身近な地域での取り組みから 河川をきれいにしましょう

生活排水は どこへ流れて行くの？

皆さんのご家庭から毎日出る、水洗トイレや台所、洗濯、風呂などの生活排水が、どこに流れていくのか考えたことがありますか。

生活排水は、最近では多くの地域で公共下水道に流され、処理場で処理された後に河川に流れて行きます。しかし、公共下水道が整備されていない地域ではどうでしょうか。

調べてみよう

わが家の生活排水
このような地域では、多くのご家庭で浄化槽が使われています。浄化槽は排水をきれいにする装置で、生活排水のうち、し尿だけを処理する「単独浄化槽」と、すべての生活排水を処理する「合併浄化槽」の2種類があります。

単独浄化槽では、し尿以外の生活排水は吸い込み槽から地下に浸透するか、道路側溝や雨水を流すための下水道管を通じて河川に流れていきます。この浄化槽を使っているご家庭では、特に台所や洗濯

などの排水方法を工夫し、管理してください。

また、自宅の生活排水がどのような方法で処理されているのか、調べてみましょう。

ふるさとの思い出の場

みんなの憩いの場である川をきれいにするために

浄化槽は、微生物の働きを利用して排水をきれいにしています。このため、適切な管理をすることが法律で義務づけられています。ご家庭でも、台所や洗濯などの雑排水を流すときに、ご飯粒や野菜屑、洗剤などで川を汚さないように注意してください。



7月3日、県が不老川の生き物の生態調査を行いました。川から採取した泥に混じる小さな生き物を見落とさないよう、バットの中でピンセットを使って、ていねいにより分けていきます。この日はドジョウやザリガニが見つかりました。

戻ってきた魚たち

不老川の魚や生き物を もっと増やそう！

不老川は以前、水質が悪く、魚がすめない川でした。現在は地域や行政の努力で徐々に水質が良くなり、最近の調査ではコイやオイカワ、メダカなどいろいろな魚が生息していることがわかりました。しかし、魚の数はまだわずかです。各ご家庭でも、排水に気を配り、不老川をさらにきれいに、たくさん魚がすめるような川にしましょう。

問合せ生活環境課へ内線3681

市長随想 ③



狭山市長 仲川 幸成
似顔絵・池原昭治氏

よく生い立ちを尋ねられます。ここでそれを披露することは迷いましたが、自分の歩んできた道はそのまま市政への考え方に大きな影響を与えているので、書き記したいと思います。

私は昭和16年12月24日、農家の長男として生まれました。入曾は畑作地帯で、陸稲、麦、さつまいも、じゃがいもなど、主に穀物を作っていました。戦後に入り人参や白菜、ホウレン草などを作付け、特に牛蒡は人間牛蒡として貨車で関西市場に出荷するほどで、特産物でありました。また豚や鶏を飼い、養蚕もしていました。19歳のときに製茶工場を始めて、畑を茶畑に転換して専業茶業となり、34歳で直売小売

店を開業。高校卒業後は4Hクラブと消防団に入り、さらに青少年相談員や公民館活動を経験して、県の青年海外派遣ではドイツ、スイスなどを見て参りました。その後、市の社会教育委員を15年務め、その間は消防団分団長、県茶業青年団長、山王中学校と所沢中央高校のPTA会長も歴任しました。また、45歳で人間公民館長に就任し、地域に根ざした公民館づくりに奔走しました。

「市の施策は、歴史と地理を無視してはあり得ない」という当時から考えは、今も変わりません。悠久とした入間川を中心に、それぞれの時代に歴史の舞台となって盛況を極めた狭山。四季の変化に富む雑木林、一望できる水田・畑の風景、脳裏に映るあの光景は、いつになっても消えない郷土愛の形であり、私の施策の原点ともなっているのです。

市長の主な動き

11/1... 飯能市市制施行50周年記念式典、市民文化祭 11/6... 第50回埼玉県更生保護大会 11/7... 国体リハーサル大会、行財政改革推進委員会 11/8... さやま大茶会 11/9... 狭山市綱引大会 11/11~12... 埼玉県西部地域まちづくり協議会先進地視察 11/13... 臨時市議会 11/15... 市政功労者表彰式 11/18... 定期監査上期結果講評、統営市議会行政視察訪問団表敬訪問、所沢地区労働基準協会連合会優良労働者表彰式 11/23... 狭山農業まつり・交通安全フェア、関東ブロック茶の共進会褒章授与式 11/26... 市町村長意見交換会 11/27... 定例記者会見 11/28... 東京狭山線整備促進期成同盟会・国への要望活動 11/29... 消防団特別点検表彰式

住基カードを発行しています

8月25日に住民基本台帳ネットワークシステムが稼働し、住民基本台帳カードを発行しています。このカードは、他の市町村での住民票の取得や転入・転出手続きが簡素化できるほか、写真付きのカードにすれば、公的な身分証明書としても利用できます。今後、このカードを利用したインターネットでの申請などができる公的個人認証サービスも予定しています。



問合せ市民課へ内線1033

市制施行50周年の記念事業に 市民検討委員会から提言

平成16年は、狭山市が誕生して50周年という記念すべき年を迎えます。

11月20日、市民団体などの代表や公募による市民の方で組織する市制施行50周年記念事業市民検討委員会から、記念事業に関する基本方針やテーマなどについての提言がありました。平成16年度はこの提言を生かし、皆さんと一緒に、さまざまな記念事業を実施しますので、ご協力をお願いします。



問合せ企画課へ内線7133

平成14年度事務事業の 評価に取り組んでいます

事務事業評価は、総合振興計画などに基づき実施した事務事業の結果を評価し、次の行政運営に役立てるとともに、目的、内容、成果などを公表することで、行政の信頼性や透明性を確保することを目指すものです。現在、事前に掲げた目標に対する達成度や得られた成果などを確認する作業に取り組んでいます。なお、評価結果は今年度中に広報さやまなどで公表していきます。

問合せ企画課へ内線7133